

令和2年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和元年7月12日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
 コード番号 7608 URL <https://www.sk-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 石井 正則 TEL 03-6660-5005
 四半期報告書提出予定日 令和元年7月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年2月期第1四半期の連結業績（平成31年3月1日～令和元年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年2月期第1四半期	1,494	△1.2	79	△55.4	79	△56.0	67	△56.7
31年2月期第1四半期	1,513	37.2	179	317.7	180	312.0	155	301.9

(注) 包括利益 2年2月期第1四半期 57百万円 (△66.9%) 31年2月期第1四半期 175百万円 (244.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年2月期第1四半期	8.04	—
31年2月期第1四半期	18.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年2月期第1四半期	3,503	2,862	81.7	342.59
31年2月期	3,454	2,837	82.1	339.65

(参考) 自己資本 2年2月期第1四半期 2,862百万円 31年2月期 2,837百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値としております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年2月期	—	3.00	—	4.00	7.00
2年2月期	—	—	—	—	—
2年2月期(予想)	—	4.00	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

令和2年2月期期末配当金の内訳 普通配当4円 30周年記念配当2円

3. 令和2年2月期の連結業績予想（平成31年3月1日～令和2年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,930	△13.5	300	△61.9	300	△62.1	252	△63.5	30.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年2月期1Q	8,490,103株	31年2月期	8,490,103株
② 期末自己株式数	2年2月期1Q	135,186株	31年2月期	135,186株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年2月期1Q	8,354,917株	31年2月期1Q	8,355,029株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績に加えて「雇用・所得環境の改善」傾向が続き、全体として緩やかな回復基調で推移しましたが、「激しさを増す米中の通商問題」「英国の欧州連合（EU）離脱」等、世界経済の不確実性が高く、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような中、当社グループは前年同期の実績を下回るものの、各事業部門とも概ね事業計画どおりに推移し、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,494百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は79百万円（前年同期比55.4%減）、経常利益は79百万円（前年同期比56.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は67百万円（前年同期比56.7%減）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業におきましては、「星のカービィ」「ドラえもん」「シャクレルプラネット」「忠犬もろしば」等の定番キャラクターが一定の売上を維持しておりますが、商品構成の変化による利益率低下などを受けた結果、売上高1,056百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益97百万円（前年同期比37.9%減）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業におきましては、一部定番キャラクターの販売はやや苦戦しましたが、「ポケットモンスター」「星のカービィ」「ドラゴンクエスト」等、ゲーム関連キャラクターの販売が好調に推移したことと、バスボール（フィギュア入り入浴剤）の販売も引き続き堅調であった事などから、売上高438百万円（前年同期比1.3%増）となりましたが、利益面では販売費及び一般管理費の増加の影響等により営業損失17百万円（前年同四半期は22百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ49百万円増加し、3,503百万円となりました。これは主に、電子記録債権の減少額67百万円、現金及び預金の減少額36百万円により一部相殺されたものの、流動資産「その他」の増加額68百万円、商品の増加額43百万円、無形固定資産の増加額30百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、641百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少額90百万円により一部相殺されたものの、買掛金の増加額106百万円によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、2,862百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額33百万円によるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年2月期の連結業績予想につきましては、平成31年4月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,099,365	2,063,047
受取手形及び売掛金	669,667	671,694
電子記録債権	225,955	158,501
商品	201,764	245,179
その他	69,653	138,298
貸倒引当金	△207	△196
流動資産合計	3,266,199	3,276,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△9,579	△10,758
建物及び構築物（純額）	5,117	3,938
車両運搬具	1,119	1,119
減価償却累計額	△934	△957
車両運搬具（純額）	184	161
建設仮勘定	7,418	—
その他	111,297	139,612
減価償却累計額	△98,992	△103,956
その他（純額）	12,305	35,656
有形固定資産合計	25,025	39,755
無形固定資産		
投資その他の資産	11,892	42,071
投資有価証券	44,053	40,970
退職給付に係る資産	45,901	39,375
繰延税金資産	47,719	52,154
その他	26,245	25,725
貸倒引当金	△12,668	△12,668
投資その他の資産合計	151,252	145,557
固定資産合計	188,170	227,385
資産合計	3,454,369	3,503,909

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成31年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,702	342,881
未払法人税等	106,790	16,414
賞与引当金	19,600	40,400
その他	208,920	197,357
流動負債合計	572,013	597,053
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	—	165
その他	44,641	44,400
固定負債合計	44,641	44,565
負債合計	616,655	641,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	492,935	492,935
利益剰余金	1,922,816	1,956,529
自己株式	△51,678	△51,678
株主資本合計	2,826,070	2,859,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,863	11,368
繰延ヘッジ損益	495	△5,991
為替換算調整勘定	△2,715	△2,869
その他の包括利益累計額合計	11,643	2,506
純資産合計	2,837,714	2,862,290
負債純資産合計	3,454,369	3,503,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年5月31日)
売上高	1,513,098	1,494,908
売上原価	1,013,076	1,024,743
売上総利益	500,021	470,164
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	83,642	95,874
賞与引当金繰入額	17,160	20,800
退職給付費用	3,076	13,677
執行役員退職慰労引当金繰入額	—	165
荷造運搬費	81,574	84,277
貸倒引当金繰入額	154	△10
その他	135,111	175,404
販売費及び一般管理費合計	320,718	390,189
営業利益	179,302	79,975
営業外収益		
受取配当金	154	164
賃貸収入	422	316
その他	300	4
営業外収益合計	877	485
営業外費用		
為替差損	—	1,194
その他	1	4
営業外費用合計	1	1,199
経常利益	180,178	79,261
特別損失		
固定資産売却損	162	—
特別損失合計	162	—
税金等調整前四半期純利益	180,015	79,261
法人税、住民税及び事業税	24,035	12,583
法人税等調整額	885	△454
法人税等合計	24,921	12,128
四半期純利益	155,094	67,132
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,094	67,132

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成31年3月1日 至 令和元年5月31日)
四半期純利益	155,094	67,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,524	△2,494
繰延ヘッジ損益	10,971	△6,487
為替換算調整勘定	△165	△154
その他の包括利益合計	20,330	△9,136
四半期包括利益	175,424	57,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,424	57,995
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法
によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期
連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定
負債の区分に表示しております。

（執行役員退職慰労引当金）

執行役員退職慰労金制度導入に伴い、将来の支出に備えるため、当第1四半期連結会計期間より内規に基づく
四半期連結会計期間末要支給額を執行役員退職慰労引当金として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,080,104	432,993	1,513,098	—	1,513,098
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	18	18	(18)	—
計	1,080,104	433,011	1,513,116	(18)	1,513,098
セグメント利益	157,123	22,179	179,302	—	179,302

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成31年3月1日 至 令和元年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,056,178	438,729	1,494,908	—	1,494,908
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,056,178	438,729	1,494,908	—	1,494,908
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	97,502	△17,527	79,975	—	79,975

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。